

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対し、40㎡以上の広さを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法定基準職員数を上回り配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階にあるため車椅子対応は難しいが、施設内はバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		月2回の事業所会議、月1回の法人会議、月1回学習会を通して行っている。事業所会議は非常勤職員の出席が少ない為増やしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価表以外にも必要時アンケート調査(今年度は保護者会アンケート)を実施し、業務改善につとめている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今年度よりホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	未実施。今後検討を予定したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			他施設との合同研修会の実施、職員交換研修への参加など各種研修参加ができるよう体制を整えると共に、非常勤職員含むスタッフへの周知も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年度はじめに子どもと保護者のニーズを把握し、そのうえで面談などを基にアセスメントを行い、個別支援計画を立案している。今年度書式を変更し課題を明確化できるように工夫した。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントツールの使用はないが、日々の記録でアセスメントを実施。今後適切なアセスメントツールがあればとりたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			余暇と療育の視点で年間・月間・および週間活動内容をチームで立案の後、当日担当リーダーがプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		季節行事等を入れるなどで固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援時間の長さに配慮しながら設定し、休日には遠方への外出など平日では実施できないプログラムの設定を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			体力や発達段階などにも考慮し、よりきめ細やかな個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の開始前に共有すべき事項の伝達や確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りミーティングを時間をかけて丁寧に実施している。その場で子どもの様子、支援方法などの共有も行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌に個別や全体の状況を日々記録し、個別記録も必要時記述し、ケース会議等で検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		半年に1度は保護者面談を行いその都度個別支援計画の見直しを行っている。必要時細やかなモニタリングをしていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自立支援、余暇活動の提供、創作活動などは活動プログラムとして日々取り入れているが、地域交流の機会の提供は少ないため、場面を増やしていきたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			メールや電話でのやりとり、また会議などへの出席は児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者にも協力いただき、年間および月間スケジュールの把握や下校時刻の確認をおこなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受入対象として医療的ケアが必要な子どもはいないが、必要時(てんかん薬や血糖コントロール等)は保護者様を通して連絡体制を整えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学支援シートやファイルなどで連携できる仕組みがあるが実際の利用はない。発達センターとは研修参加や見学を通して情報共有の場としているが、直接的な連携はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	連携体制が整っていない。必要時情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達センターの研修や見学の機会があれば積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童館や公園などで障害のない子ども達との間接的交流を図っている。今年度はTeracoya(放課後児童クラブ)と直接交流を行った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		直接的な参加はないが、作業所連絡会経由で情報共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日常的には連絡帳やサービス提供記録、自宅送迎の際に様子を報告している。面談時には本人や保護者のニーズの聞き取りを心がけている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		積極的には行っていないが、面談時など助言を求められた際に対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			丁寧に説明するように心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けた際には職員間で共有、検討し、気持ちに寄り添った返答を心がけている。今後も相談しやすい関係性づくりなどに努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母会の設置はないが、ふくしまつりを交流の機会としている。保護者の希望調査結果から保護者会は年に1回開催に変更した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等があった場合は迅速な共有と対応を心がけ、スタッフ全員で共有して再発防止に努めるようにつとめている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は年に2～3回刊行。法人のホームページ内ブログにて日々の活動の様子をこまめに伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			一斉メールの際にはBCCで発信するなどして個人が特定されないように注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			活動内での子どもとの意思の疎通は発達段階に応じて、必要時は視覚支援や個別の声掛けなどを通じて情報伝達による不利益がないように努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		ふくしまつりの参加による地域交流やハロウィン行事などで地域に出て活動するなどの工夫をおこなっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			今年度すべてのマニュアルを整備し周知した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月次の避難訓練を火事、地震を隔月で実施する他、消防署職員による避難訓練や保護者引取訓練なども年1回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修への参加、または内部研修の機会を設けている。虐待と断定できるケースに限らず、虐待に当たるか微妙なケース等意見を出し合い、気をつける事などを共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		これまで該当の子どもがいないが、必要時組織的に決定し、保護者や子どもに十分説明し了解をえたうえで計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用状況書やアレルギー調査書にてアレルギー情報を把握。アレルギーがある児童に関しては全職員に周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が出たら当日中に文書化し、事業所会議や法人会議で再共有するようにつとめている。